

学校教育目標や、本校の目指す生徒像につながる質問項目に着目して、本校の強みや課題を見つけ出し、改善の取り組みを考えてみます。



このページの中心部分には、**国語・数学**の調査結果に見える本校の強みと課題をまとめました。外側を囲む枠の部分には[生徒質問紙]から見てきた本校生徒の強みや課題点についてまとめました。

南中生の強み ①

○将来の夢・目標を持つとしている南中生
(11) 将来の夢や目標を持っていますか。
1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる

本校	80.0%	県	67.0%	全国	66.3%
----	-------	---	-------	----	-------

もちろん、1・2以外を選択して回答した南中生の思いも共に大切にしながら、キャリア教育等を通して、将来を思い描く価値について考えていきます。

南中生の強み ②

○ICT機器の日常活用
(27) 1・2年生のときに受けた授業で、PC、タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。 1 ほぼ毎日 2 週3回以上

本校	80.0%	県	62.8%	全国	64.4%
----	-------	---	-------	----	-------

ハード/ソフト面の両面を充実により、ICT機器が南中生にとって文房具となりつつあることが伺えます。今後も使用目的を考えて使用していきます。

南中生の強み ③

○探究の深まり・地域への高い関心
(38) 総合的な学習では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

本校	68.0%	県	30.6%	全国	33.7%
----	-------	---	-------	----	-------

個人探究テーマをもとに、地域のもの、こと、人と関わりながら学習を進めている取り組みが成果として現れています。

南中生の強み ④

○話し合い活動を通しての、考えの深まりや広がりの実感
(29) 1・2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫していましたか。

1 発表していた 2 どちらかといえば発表していた

本校	84.0%
県	69.1%
全国	64.8%

(33) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか。

1 当てはまる

本校	96.0%
県	86.3%
全国	86.1%

教科の授業のみならず、生徒会の時間や全校の集会等でも、車座になって自分の考えを語り合い、他者の考えを取り入れ、見方・考え方を働かせることができるのは南中生の強みです。こうした強みを自覚し、自分たちの活動にも積極的に取り入れていこうとしている生徒の姿をさらに支援していきます。

R6 全国学力・学習状況調査に見る南牧中学校の学びの今

()内は問題番号

国語

◎力がついている

- ・必要に応じて、質問しながら、話の内容を捉えることができる。(1一)
- ・目的に応じて必要な情報に着目して要約することができる。(2四)
- ・表現の効果を考えて描写するなど自分の考えが伝わる文章になるように工夫できる。(3四)
- ・表現の技法について理解している。(4一)

△伸ばしていこう

- ・文の成分の順序や照応について理解している。(3二)
- ・文脈に即して漢字を正しく書くことができる。(3三)

数学

◎力がついている

- ・複数の集団データの分布の傾向を比較して読み取り判断の理由を数学的な表現を用いて説明できる。(7(2))
- ・複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができる。(7(3))
- ・事象の角の大きさに着目して観察し問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出すことができる。(9(2))

△伸ばしていこう

- ・連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表すことができる。(1)
- ・回転移動について理解している。(3)
- ・一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解している。(4)



全国学力・学習状況調査は、今年の4月18日(木)に行われました。これは、2021年度全面実施された学習指導要領の定着の度合いを測り、教科学習の授業改善に生かしていくためのものです。

本年度の問題や調査結果の資料などは、国立教育政策研究所のホームページ(下の二次元コード)で見ることができます。



国立教育政策研究所のホームページ ▲

【調査結果をもとに南牧中で取り組んでいきたいと考えていること】 昨年からの継続の内容もあります。

- ① 自分の意見をもって友と交流したり、複数の資料(読書活動等も含む)から必要な情報を取り入れたりして言語活動を充実させていきます。
- ② 互いの良さを認め合える集団作りを目指し、自己肯定感・自己有用感の高い生徒を育成していきます。
- ③ 自らの課題解決に向けた追究を通して「できた」という達成感を積み重ね、学習することの喜びが感じられる授業を、教師と生徒で共に作っていきます。

他に・・・南中生の良さ

- 毎日、朝食を食べる・同じくらいの時間に寝る
 - 自分には良いところがあると思う
 - 学校に行くのは楽しい
- 「自己肯定感・自己有用感」ともに高く、グランドデザインにある学校長の願いに繋がる成果が見えてきました。

これからもこのように自分を大切にできる南中生を増やしていくために、南牧中学校の学校づくりはどのようにしたらよいか、授業改善をはじめとし、学校行事の再構築を含めて、令和7年度の教育課程を編成していきたいと考えます。



《本校生徒の課題と思われる点》

- ・(7) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っていますか。
- ・(21) 学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらい勉強をしますか。
- ・(22) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
- ・(23) あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。

これらの項目については、(1、当てはまる2、どちらかといえば当てはまる)と答えた生徒の割合が全国比で低い結果となりました。